

掲載日：平成24年6月22日

第3回七ヶ浜町ボランティア活動



今回参加したメンバー



増幸産業90周年イベントの一環として行っている、東日本大震災へのボランティア活動の第三陣として、宮城県七ヶ浜町の田園の再生活動に参加しました。

今回は20代・30代・40代の3人という少数精鋭部隊？でのお手伝いとなりました。

～感想～

- ・ひたすら畑を掘り返し小さな瓦礫を取り除く地味な作業でしたが、パッと見 綺麗に瓦礫処理がされている畑でも、スコップを入れるたび“ガリ、ガリ”と固い音がして、瀬戸物やガラス片など生活感のあるものが所々埋っている状況でした。一見 綺麗でも一皮剥けば、その下に当時の状況が埋もれていました。(40代 男性)
- ・ボランティアに参加する前は、男だらけのキツイ作業になるのだろうなあと予測していました。実際に行ってみると、若い女性の参加者が沢山いてビックリ！日本んの未来は決して暗くないと感じました。被災地復興への道のりはまだまだ長いと思います。自分の出来ることを出来るペースで行っていきたいと思います。(30代 男性)
- ・私達は宮城県七ヶ浜町で活動させて頂きました。震災から1年以上たっているのにまだ津波の爪痕が残っていました。基礎だけ残った家、ボロボロになった車があちらこちらで見うけられました。海から数キロ離れているらしいのですが改めて津波の恐ろしさを見せつけられました。私達がさせて頂いたことは、田園の再生活どうでした。一見綺麗に見える田んぼでもスコップで掘り起こせばがれきや木くずの数々。40人ほどで行ったのですが1日かけても1枚終わりませんでした。まだ手つかずの田んぼもたくさんありまだまだボランティアの手が必要だと感じました。また、ぜひ微力ながらも力になりたいです。(20代 男性)